

旭区地域史

区民による地域史づくり・人づくり 大阪市旭区地域史づくりワークショップ

平成21年度実施地域 高殿・生江・城北

はじめに～地域史について

■この「旭区地域史」は、地域の歴史を発掘する区民の取り組みとして、平成21年5月28日から平成22年3月11日の約10ヶ月間に計10回ワークショップを開催し、その成果として参加者の手によって作成されたものです。ワークショップは、地域史の作成とともに、「知って得する旭学講座」などで積み重ねてきた経験等を活かした人材の育成、活動を通じて地域コミュニティのさらなる向上を図ることも目的としています。

■ワークショップに参加された方は、これまで地域を研究されていて歴史について大変知識のある方から、旭区にずっと住んでおられるが地域の歴史をあまりご存じでない方までいらっしゃいましたが、「地域史をつくる」という1つの目標に向かって一丸となり取り組みました。

■今後は、旭区民が作成した初の「地域史」として、多くの方々に興味を持っていただき、地域のコミュニケーションを高めるツールや学校の教材など、様々な場面で活用されていくことが期待されます。

■地域史の作成にあたり、各種資料をご提供いただいた関係機関の皆様、心からお礼を申し上げます。



■第1回(平成21年5月28日)



■第4回(平成21年7月23日)



■第5回(平成21年9月8日)



■第2回(平成21年6月18日)
まちあるき(高殿)



■第3回(平成21年6月24日)
まちあるき(生江・城北)



■第6回(平成21年10月9日)



■第7回(平成21年11月12日)



■第8回(平成21年12月3日)



■第9回(平成22年1月13日)



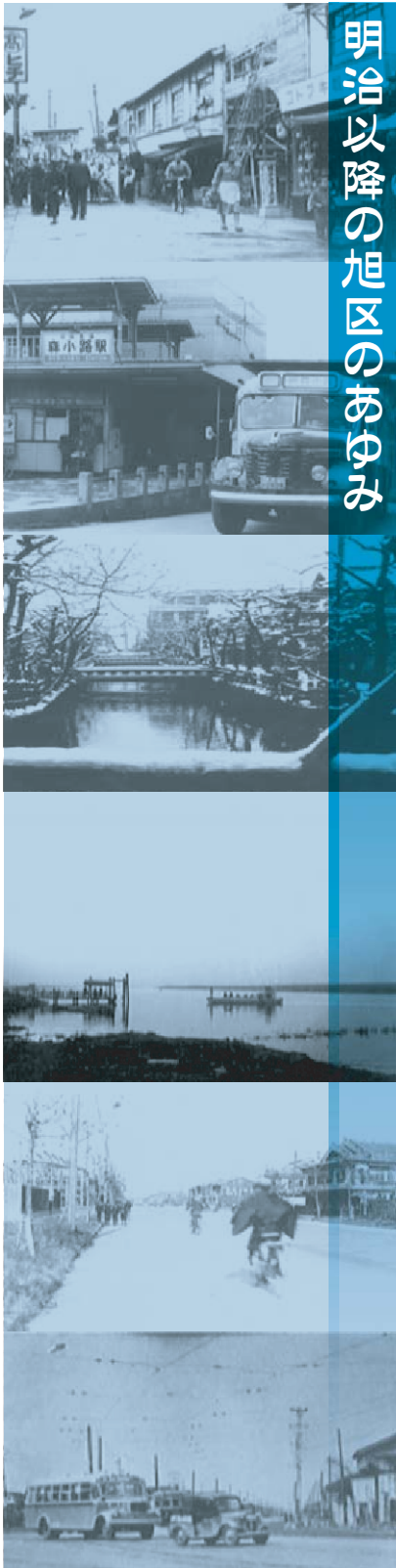
■成果発表会(平成22年2月27日)



■第10回(平成22年3月11日)

- 旭区でそれはいつから始まったのか? 3
- 地域の移り変わり 4
- 高殿のテーマ 5
- ワークショップの活動記録 6
- 大宮神社の参道 7
- 城北川 11
- 旭プールの思い出 18
- 高殿のまちあるきで発見 19
- 高殿小学校 21
- 旭陽中学校 29
- 昭和5年に新装開店の
飾り付けをした米穀店 30

明治以降の旭区のおゆみ



明治	4年 (1871)	廃藩置県(大阪府を置く) 旭区域は摂津県東成郡に属す
	6年 (1873)	千林小学校創立
	8年 (1875)	淀川修築工事着工 水制(ケレップ)工事が始まる 中村小学校(現、城北小学校)創立
	18年 (1885)	淀川左岸決壊し、大洪水が起こる。翌年にかけてコレラが大流行
	22年 (1889)	市制町村制施行(大阪市発足) 旭区域は東成郡のまま 清水、古市、城北村がこの頃成立。
大正	29年 (1896)	淀川大洪水 翌年から淀川改良工事が始まる
	43年 (1910)	京阪電車開通(天満橋~五條間) 蒲生・野江・森小路駅開設
	45年 (1912)	この頃、千林商店街ができる。
	6年 (1917)	城北村に初の上水道給水
	7年 (1918)	米騒動が起こる
	11年 (1922)	古市・清水小学校創立 関西工学専修学校(現大阪工業大学)創設
	13年 (1924)	古市耕地整理組合設立 城北村で共同浴場開設
昭和	14年 (1925)	大阪市第二次市域拡張 旭区域が市域に編入され東成区に
	15年 (1926)	城北土地区画整理組合設立
	2年 (1927)	京阪国道(現、国道1号)の舗装工事始まる 京阪電鉄にロマンスカー登場
	3年 (1928)	片町~森小路、東野田6丁目~森小路1丁目間で区内初の市バス運行。
	4年 (1929)	区画整理事業による町名変更が行われる(昭和20年まで) 森小路、北船場、大宮で土地区画整理組合設立。
	5年 (1930)	榎並之荘、清水で土地区画整理組合設立。
	6年 (1931)	市電都島~守口間開通 森小路遺跡が発見される
	7年 (1932)	旭区が誕生(東成区から分区) 新森中央公園開園
	8年 (1933)	京阪国道(現、国道1号)開通 京阪電鉄蒲生~守口間高架複々線工事完成
	9年 (1934)	城北公園開園 室戸台風襲来
	12年 (1937)	御堂筋竣工
	15年 (1940)	城北運河(現、城北川)完成
	18年 (1943)	南半分が城東区、一部が都島区となり、現在の旭区となる。旭公園開園
	20年 (1945)	大阪市東北部大阪大空襲(6月7日) 終戦(8月15日)
	24年 (1949)	旭区役所庁舎再建(火災焼失のため)
	28年 (1953)	台風13号による大洪水が起こる
	32年 (1957)	今里~守口間でトロリーバス運転開始 ダイエー1号店が千林にオープン
38年 (1963)	太子橋中公園開園	
39年 (1964)	城北公園に菖蒲園開園	
43年 (1968)	阪神高速道路北浜~森小路間開通	
44年 (1969)	市電全廃	
45年 (1970)	豊里大橋完成、平太の渡し廃止 旭区役所新庁舎完成 万国博覧会開催	
46年 (1971)	阪神高速道路守口線開通 旭区全域が下水処理区域になる	
48年 (1973)	城北運河魚釣り場オープン	
49年 (1974)	城北運河歩行者専用道路完成 大阪市分区により26区に	
50年 (1975)	旭図書館、区老人福祉センター開設	
52年 (1977)	地下鉄谷町線都島~守口間開通 千林大宮、太子橋今市駅設置。	
58年 (1983)	淀川大堰竣工	
平成	元年 (1989)	菅原城北大橋開通 大阪市合区により24区に
	2年 (1990)	国際花と緑の博覧会開催
	6年 (1994)	旭スポーツセンター開設
	12年 (2000)	旭区民センター・芸術創造館・旭図書館完成
	14年 (2002)	旭屋内プール、城北市民学習センター開設。

※「ぶらり探訪 旭の見どころ・知りどころ」より抜粋